

# 橋本市の 小中一貫教育の 要件

■ **小中一貫教育目標の設定**  
義務教育9年間で育てたい小中一貫教育目標を設定します。

■ **教育課程、指導内容・方法、形態の連続性**  
9年間の連続した学びと育ちを支援するために、教科・領域の教育課程を体系的に整理し、「ふさわしい時期に」「ふさわしい内容を」「ふさわしい方法で」指導する計画を作成します。  
・ 発達の研究、つまづき等の分析、チームティーチング、教科担任制など

■ **児童生徒の教育活動の連続性**  
社会性や規範意識を学び、豊かな人間性を育てる小中合同行事や、異年齢集団活動等を実施します。

■ **教職員間の連携**  
小中学校間の積極的な人事交流により、義務教育学校の教職員という意識で児童生徒を指導します。  
小中学校の教職員が一体となった組織を編成し、合同研修を通して課題解決等に取り組みます。

## 小中一貫教育が めざすもの

現れてくる課題

学習面の不安

小中一貫教育の導入

人間関係などからくる不安



小学校と中学校  
が目標を共有し  
教職員が一体と  
なって学習指導  
や生徒指導等に  
組織的に取り組  
みます。



確かな学力の  
定着とその向上

### 「学力の向上」をめざします

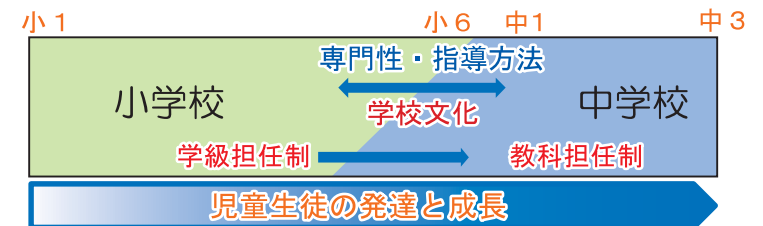
- 橋本市の小中一貫教育は学習指導要領に基づいて行います。
- 小学校の内容は小学校で、中学校の内容は中学校で指導しながら、小中学校の教職員が一丸となって確かな学力の定着と向上をめざします。
  - 義務教育前期・・・基礎基本の定着を図ります。
    - ・ 学級担任制で基礎基本の定着を図りますが、複数の教員によるチームティーチングを実施します。
  - 義務教育中期・・・学び方を学び、活用する力を育てます。
    - ・ 教科担任制を取り入れ、小中学校教員による相互乗り入れの授業を行い、専門性の高い指導とよき細やかな指導で、小学校と中学校とのスムーズな連携を行います。  
(例：算数・数学科、理科、図工・美術科、音楽科、体育科、技術家庭科、英語活動など)
  - 義務教育後期・・・自ら学ぶ力を育成します。
    - ・ 教科担任制を行い、発展的な学習を取り入れるなど、生徒の自学自習の力を付けながら個性・能力を伸ばす指導を行います。



中学校教員・ALTとの  
小学校でのTT授業(英語活動)



小学校教員による  
中学校での授業(美術)



生徒指導における  
円滑な接続

### 「健康・体力の向上」をめざします

- 9年間を見通した体力向上プログラムを展開します。
  - 体育の充実と体力の向上に努めます。
  - 運動習慣の確立、部活動・特別活動の充実を図ります。
- 基本的な生活習慣の確立に努めます。
  - 「早寝・早起き・朝ごはん」を推進します。
  - 学習習慣・学習規律の確立に努めます。
- 健康教育の充実に努めます。
  - 望ましい食生活の指導や安全指導を行います。



6年生の部活動体験



中学校教員による小学校での  
授業(体育)

新しい学校文化の  
創造

### 「豊かな心の育ち」を支援します

- 児童生徒理解に努めます。
  - 小中学校間の情報交換を密にし、子ども一人一人を大切にする指導を行います。
- 異年齢交流や体験活動をすすめます。
  - 小中学校合同の行事を実施し、優しさや思いやり、あこがれの心情を育み、人間としての成長をめざします。



鼓笛練習の指導(吹奏楽部)

### 「安心して学べる環境の整備」に努めます

- 小学校と中学校の教職員が連携して、生徒指導上の諸問題に適切に対応します。
  - 問題行動の未然防止や一貫した安全指導を行い、健全育成に努めます。
  - 情報交換や児童生徒理解を深め、中1ギャップの防止に努めます。
- 児童生徒会活動等を充実させ、児童生徒が主役になる行事を推進します。



小中合同研修会(授業参観)

### 「学校経営力の向上」を図ります

- 小中一貫教育のよさを学校経営に生かし、教職員全員で学校運営を推進します。
- 地域や保護者の学校評価を反映させ、学校の説明責任を果たします。